



http://www.sankyosys.co.jp/
〒791-8057 松山市大可賀3丁目150番地36
TEL 089-967-8010 FAX 089-967-8020

「大手企業の省人化を対象とした技術力が光る。モノづくりが好きな方にはピッタリ！」

取引メーカーの工場内で製造される紙おむつやウェットティッシュなど、自動で包装し段ボール内に梱包することができる省力機械を完全オーダーメイドで造っている(株)三協システム。日本での競合は数社というこの業界の中でも、全体のシステムを一貫して提案できることに強みがある。営業部門が無いのも特徴の一つ。社員一人一人が会社の営業マンとしてお客様の要望に添えていこうとする心、そして全部門の技術を結集して造り上げた製品そのものが最大の宣伝となり、次の注文に繋がっている。より多くのお客様から「開発集団」と呼んでいただけるよう、技術力を高めることを常に意識している社長。その過程で必要となる高額な設備や装置を購入することや、試作品での失敗などは、将来への投資として邁進している。設計から製造販売、およびメンテナンスに至るまで、全て自社で行っていることから、自分の造った機械が動いている！という喜びを感じられるのが魅力。小さい頃からモノづくりが好きだった人なら、文系出身でもしっかり育ててくれるので、成長産業で技術力を身に付けたい人にはお勧めの企業だ。

当社の 特徴 と 魅力



試行錯誤、大歓迎！

各部門では、新しく試してみたいという意見は若くとも積極的に受け入れてくれる。失敗しても、前向きなら叱られることもない。モノづくり好きにはたまらない環境だ。特許も多く取得している。

若い社員が多く、仲が良い

忙しくても、質問をすれば、答えてくれる先輩ばかり。技術者が多いため、落ち着いた穏やかな雰囲気があり、社員同士の仲が良く、仕事のコミュニケーションは取りやすい。

労いの心を大切に

一つの包装機械を作り上げるにあたり、忘れてはいけない協力会社の存在。忘年会は社員だけでなく、協力会社も招待し、盛大に一年を労います。



設計 岩井 / 2015年入社
事務 伊藤 / 2019年入社

★★社員紹介★★

入社5年目の岩井さんは、職場見学時に社員の仲の良さを感じて入社。部品図の作成から始め、今は、ラインの1つの機械について設計を任されるようになっている。お客様の要望に応えるために、今まで誰も考えていなかった機構を思いつき、うまくいったときにやりがいを感じるそうだ。そのため、日々試行錯誤しており、お客様が「今までと同じで。」と言っても、さらにより良くするために、と工夫は怠らないそうだ。

入社半年の伊藤さんが取り組むのは、200ページほどもある自社機械の取扱説明書。どうすれば使う人がわかりやすいかを考えて取り組んでいる。一人一台をまかされるが、今は教えてもらいながら進めている。同じ部署の先輩だけでなく、実際に機械を作っている現場に行って教えてもらうことも。部門間の壁もなく、誰に聞いても、親切に教えてくれるため、進めやすいとのこと。二人とも、「話しづらい人がおらず、働きやすい職場です！」と笑顔でお話されていた。

★★社長から一言★★

お客様にとっては、経済効果を生み出すための大きな設備投資となる包装機械であるため、長期にわたり生産できる安全かつ使いやすいものを、という思いをとても大事にしている。また、新技術への挑戦が会社を成長させるという信念があるため、失敗を恐れず挑戦していく人材の育成を続けている。

会社の売り上げや利益なども社員に公開し、オープンな経営をされている。社内でも積極的に社員に声をかけられ、風通しの良い社風だと感じた。「自分が今何をすればいいのかを考えられる人に来て欲しい」という社長。向上心を持つ社員がチャレンジできる環境作りを大切にし、さらなる成長をしていきたいと考えている。



代表取締役社長 毛利逸彦